第 16 回報告書 2023 年 7 月 28 日

ElasticSearch サーバーのデータ移行について

祖父江匠真

1 概要

今回は、133.71.201.197 から 133.71.106.141 への ElasticSearch サーバー間の CO_2 データの移行後に発生した、ラズベリーパイからデータのインサートが出来ない問題への対応と、移行元 ElasticSearch サーバーから移行されていない CO_2 データの移行について報告する.

2 ラズベリーパイからデータのインサートが出来ない問題について

私が実装したデータ移行プログラムを使用して作成した Elastic Search のインデックスに対してラズベリーパイからデータのインサートが出来ない問題が発生した。そこで、インデックスの作成を高木君側で行ってもらい、ラズベリーパイから正常にデータのインサートが出来ていることを確認した上で、私が実装したデータ移行プログラムを使用して CO。データの移行を再度行うことで問題を解決した。

3 移行元 Elastic Search サーバーから移行されていない CO_2 データの移行について

- 1. まず 2023 年 5 月中旬に移行した際の全移行データの中で最も最新の utctime フィールドの値を検索する.
- 2. 次に,移行先 ElasticSearch サーバーにラズベリーパイからインサートされた 全データの中で最も古い utctime フィールドの値を検索する.

- 3. 1 と 2 で得られた utctime の値の範囲に含まれる utctime を持つドキュメントを、移行元 Elastic Search サーバーの co2 と名のつくインデックスから elasticdump [1] ライブラリを使用してローカルマシンにエクスポートする.
- 4. 部屋番号 (number) とタイムスタンプ (JPtime) の組み合わせがユニークに なるようにエクスポートしたデータをフィルタリングする.
- 5. フィルタリング後のデータを移行先 Elastic Search サーバーにバルクインサートする.

4 kibana によるデータの可視化

2023年5月中旬から2023年7月中旬までの間の約2ヶ月間の CO_2 データを移行した後のco2_modbusインデックスについて、横軸をタイムスタンプ(utctime)とし、縦軸をPPM、RH、TEMPとしてそれぞれプロットしたものを図1~図3に示す.

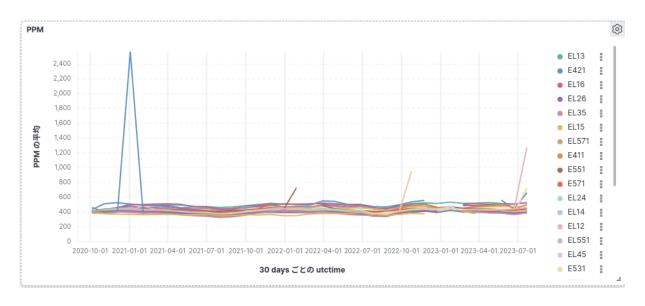


図 1: co2_modbus の PPM

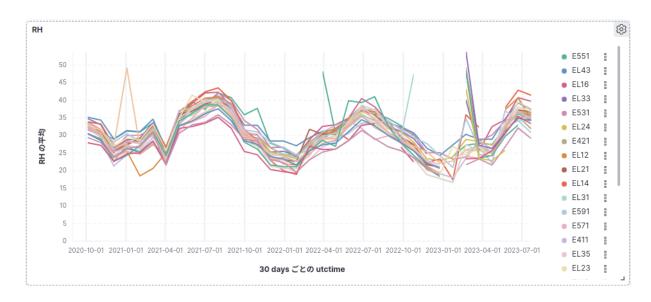


図 2: co2_modbus の RH

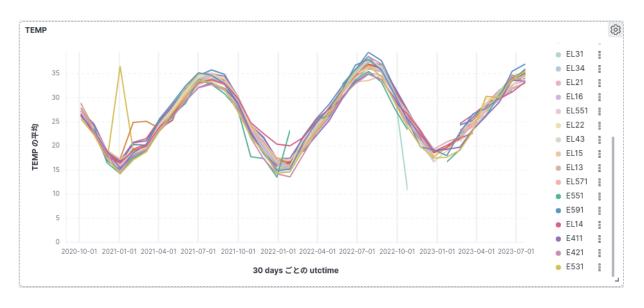


図 3: co2_modbus の TEMP

今回, 追加で移行した 2023 年 5 月中旬から 2023 年 7 月中旬までの期間について, 図 $1 \sim 図 3$ より, 連続的にデータが変化していることが目視で確認できるので, データ移行は正常に出来たと判断できる.

5 まとめ

今回は、133.71.201.197 から 133.71.106.141 への Elastic Search サーバー間の CO_2 データの移行後に発生した、ラズベリーパイからデータのインサートが出来ない問題を解決したことと、移行元 Elastic Search サーバーから移行されていない CO_2 データの移行を行い、kibana を使ってプロットしたグラフが連続的に変化していることから、正常に移行出来たことを報告した.

次回は、133.71.201.197 の ElasticSearch サーバーにある pcs_recyclekan という名前のインデックス以外のインデックスについて調査を行い、必要であればデータ移行を行う.

参考文献

[1] Ferron H, "ElasticDump ", https://github.com/elasticsearch-dump/elasticsearch-dump, 参照 June 19,2023.